



# 1人1人が健康を「自分ごと」に 人生の階段を元気に上げる社会

日本は総人口に占める65歳以上人口が27パーセントを超える超高齢社会を迎えた。少子化対策が劇的に進展しない限り、高齢者の割合は今後も増加を続け、2040年には35パーセントを超えるとの推計もある。老いも若きも健康で幸せな未来社会を作るにはどうすべきか。センター・オブ・イノベーション(COI)プログラムの東京大学「自分で守る健康社会拠点」では、健康に関する意識を高め、行動や習慣の見直しを促すことで、この問題の解決につなげようとしている。

12月号特集では、東京大学COI拠点が見据える未来社会像と、その実現に向けて開発が進められている健康状態の可視化技術や、健康への意識を高め、行動変容を促す取り組みを紹介する。

てい ゆういち

**鄭 雄一**

研究リーダー

東京大学 大学院工学系研究科 /

医学系研究科 教授

東京大学 COI 研究推進機構 副機構長

1989年 東京大学大学院医学系研究科修了。医学博士。米国マサチューセッツ総合病院内分泌科研究員、ハーバード大学医学部助教授、東京大学大学院工学系研究科教授などを経て、2016年より東京大学大学院医学系研究科教授(兼務)。13年より東京大学COI研究推進機構副機構長。

いけうら とみひさ

**池浦 富久**

プロジェクトリーダー

東京大学 COI 研究推進機構

機構長

1976年 九州大学大学院工学研究科修士課程修了。同年 三菱化成工業(当時)入社。三菱ケミカルホールディングス執行役員、同顧問、三菱化学常務執行役員などを歴任。2013年より現職。